

歴史館探検シート 6

学校名 _____

学年・名前 _____

やまおかたかゆき

山岡高歩 コース

旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治・大正・昭和時代



茨城県初代知事（参事）
山岡高歩

江戸時代の終わり頃、アメリカやイギリスなどの外国船が日本近海にあらわれると、鎖国をやめて外国となかよくしようという意見と、鎖国を続けて外国の船を追い払おうという意見が対立します。外国船を追い払うという考えは、天皇を尊び外国人（夷）を追い払うということから尊皇攘夷といえます。この中心となったのが水戸藩でした。2つの意見が対立するなか、幕府は鎖国をやめて外国と貿易する条約を結びました。また、幕府の中心人物であった井伊直弼は、水戸藩主など開国に反対する人々を罰しました（安政の大獄）。これに対し、尊皇攘夷運動を進める水戸藩の人々は、江戸城の桜田門という所で井伊直弼を殺害しました（桜田門外の変）。その後、水戸藩の内部では尊皇攘夷の考えに立つ人々と、幕府側に立つ人々とにわかれて戦いがおきました。尊皇攘夷運動は、日本と外国の力の差が明らかになってくると、やがて幕府を倒す倒幕運動になります。この中心となったのが薩摩藩と長州藩でした。水戸藩出身の15代将軍徳川慶喜は、政治の実権を天皇に返還し（大政奉還）、江戸幕府は終わりをむかえました。新しい政府は江戸を東京とあらため、天皇を中心とする政治を始めました（明治維新）。ここでは、外国の社会に近づこうとした、明治政府の様々な政策と社会の問題を考えます。

問題1 桜田門外の変の後、水戸藩内部では幕府側に立つ人々（諸生党）と、尊皇攘夷の考えに立つ人々とに分かれてはげしい戦いが始まります。藤田小四郎などの尊皇攘夷の人々は（筑波山）に兵を集め、（天狗・てんぐ党）とよばれました。（幕末のビデオを見て考えましょう。）

問題2 明治政府は、天皇を中心とする新しい社会をつくるため、今まで所有していた大名の領地や領民を国有化することを考えました。そして次のような順序で改革を進めました。

明治2年→各大名にそれまで支配していた領地（版）と領民（籍）を国にかえさせました（版籍奉還）。

明治4年→それまでの藩をやめて県を置くことにしました（廃藩置県）。

さらに、いくつかの県を統合して茨城県、（新治県）、
印旛県ができました。



問題3 江戸幕府の財源は田から収穫されるお米でしたが、明治政府は安定した財源を確保するため、税をお金にすることにしました。そのために、収穫量から土地の価格（地価）を決めることにしました（地租改正）。

そして、土地の所有者に（地券・ちけん）を与え、地価の3パーセントを税金としました。

地租改正までの流れ

明治4年→農民のお米の売り買いを認める

明治5年→税をお金で納めることを認める

田畑の売り買いを認める・・・生活の苦しい農民は田畑を売るようになる
大地主がうまれる原因となる



明治6年→地租改正を行う 納税の方法はお米からお金となる
税率はいつも地価の3パーセントとする
税金を納める人は耕作者から土地の所有者（地主）となる

地租改正が行われると、地方の生活もお金を中心とした暮らしに変わってきました。税金をはらえない農民の中に土地を手ばなす人々もあらわれ、やがて全国の半分が小作地（地主から借りている農地）となりました。小作地が無くなったのは、第二次世界大戦後のアメリカの政策によるものです。

問題4 薩摩・長州藩を中心とした明治政府に対し、新政府に不満をもつ不平等族達は、国会開設や憲法制定などの政策を要求する運動を始めました。このような運動を自由民権運動とといいます。茨城県では、明治17年（1884）に明治政府に反対する下館町の運動家が武器をもって集まりました。これを（加波山 事件）とといいます。

問題5 明治政府が国を強くするために行った政策のひとつが教育です。明治5年（1872）に（学 制）が出されると、茨城県でも小学校の開設が始まり、明治22年に市町村が統合されると全ての市町村に小学校がつけられました。歴史館にある小学校の建物（右の写真）は、この頃に建てられた水海道小学校の建物です。



問題6 明治時代から大正時代になると、各種の産業が近代化し、鉾山などが開発されるようになりました。右の写真は（日立 鉾山）のようすです。産業が発達すると交通網も整備されるようになり、県内に初めて鉄道が開設されるようになりました。茨城県で最初の鉄道は明治22年に開設された水戸ー小山間の水戸鉄道です。



問題7 近代化を進めてきた日本は、日清戦争や日露戦争を通して国力が強まります。しかし、そのかわりに国民の負担も大きく増えるようになりました。特に第二次世界大戦のときには戦争が長期化したため、国民の生活は大変きびしいものとなりました。やがて、アメリカ軍の攻撃が日本国内に始まると、工場のある日立市・水戸市・ひたちなか市などに艦砲射撃が行われ、大きな被害を受けました。この戦争が終わったのは、昭和（20年 8月15日）です。



戦争のようすについて、おじいさんやおばあさんに体験したことのお話を聞いてみましょう

最後までよくがんばりましたね。

歴史は、教科書をおぼえるものではなく、自分で調べて考える学習です。今回の探検シートでは茨城県の歴史を古い時代から新しい時代まで通して学習しました。この経験をいかして、先人の知恵とたゆまぬ努力を学んでください。

歴史館は、茨城県の歴史を調べ、大切な資料を集めたり、後の時代にまもり伝えていくところです。

わからないことがあったり、疑問に感じたことがあれば、いつでも相談してください。

印